独自の緊急支援策実施

新型コロナ対応

新型コロナウイルス感染拡大は本学在学生の授業や研究活動のほか、就職活動、課外活動、経済状況など、あらゆる方面に影響を及ぼした。

4月8日のキャンパス入構禁止措置以降、春期授業をすべて遠隔で実施してきた本学は、全国の緊急事態宣言が解除された5月25日以降も引き続き入構禁止措置を継続した。

その後は、社会状況を注視しつつ、5月29日には本学スポーツ協議会指定クラブの活動を、公共交通機関を利用しない学生のみ限定的に再開し、7月1日には一部科目の対面授業および研究活動を再開するなど、段階的な緩和措置を講じている。引き続き、状況変化に応じた対策を行うこととしている。

(関連記事4面)

全学生・生徒に8万円給付
家計急変者の授業料 半額貸与

本学園はオンライン授業の開始に先立ち、各家庭におけるオンライン環境の整備補助として、本学園の全学生・生徒に対し、一律8万円の緊急給付金を支給することを決定し、4月28日に本学ホームページで公表した。

本学学部生および大学院生には、普通為替証書を5月26日から順次、学納金納入者住所宛てに郵便書留で送付し、高校生および中学生には5月中に、授業料引き落とし口座への振込みを行った。

さらに、新型コロナウイルスの影響による家計急変を受けて授業料の納入に困難が生じた本学学部生および大学院生に対して、授業料の半額を無利子で貸与する「新型コロナウイルス感染症の影響等に対する学費支援制度」を行うことを決定し、6月30日に公表した。

本制度における貸与額は、学費のうち授業料自己負担額の半額とし、卒業時まで返還を猶予する。本学卒業時に審査の上、返還義務が免除される。貸与期間は令和2年度のみ。7月20日に申し込みを締め切り、審査を経て11月頃に採用可否が通知される。

学内奨学金制度も

このほか、授業料が減免になる修学援助奨学生や毎月定額で奨学金を給付する外国人留学生奨学生など、本学独自の奨学金制度でも並行して募集を行った。

外国人留学生奨学生は、本年度の授業が開始された5月からさかのぼって給付する。募集期間は7月31日まで。

「震度5強」や大災害発生時に発動
安否確認システム導入

本学では、大規模災害発生時に学生および教職員の安否確認を迅速かつ確実に行うため、5月からセコム株式会社が提供する「国士舘大学安否確認システム」の導入を開始した。

本システムは、対象地域で「震度5強」以上の地震が発生した場合に、気象庁から配信される地震情報をセコムが取得し、登録者に安否確認メールを自動的に配信。利用者は専用アプリやLINEなどで返信し、収集された安否情報は管理者がリアルタイムで自動集計する。

これによって、迅速な安否確認と効率的な集計データの蓄積が行えるようになるだけでなく、掲示板機能を活用した円滑な情報共有が可能となる。

また、地震に限らず大規模災害など危険発生時にも、災害による影響を精査し、必要に応じて安否確認を行う。

学生には、本システムの概要や初期設定方法を記した「利用者初期登録マニュアル」をmanaba(講義支援システム)上で公開し、全学生の登録が完了した。

教育後援会 書面で総会
事業計画にコロナ対策も

本学学生ご父母で構成される国士舘大学教育後援会は6月、発足から5回目となる令和2年度の総会を新型コロナウイルス感染拡大への対策として資料送付による書面で行った。

令和2年度は、大学の各種事業が中止または縮小され、授業も遠隔となっている一方で、さまざまな緊急対策がされている状況に呼応し、例年と大きく異なる事業計画となった。

新規事業として、将来計画に向けた「奨学金等積立特別会計予算」の創設、国士舘安否確認システム導入への支援、東京オリンピック・パラリンピック関連事業の活動支援、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学生支援に関する諸施策への支援などが決議された。

継続事業のうち、新入生への入学お祝い品として用意した防災セット(写真)は、後期授業開始後に配布する予定。

また、SPI模擬試験の受験料支援については、春期授業期間中に予定されていたSPI模擬試験の実施が困難になったことから、SPI試験対策本を3年生全員に無料配布する事業を全面支援した。

文化財石垣補修・補強技術協会 初代会長に橋本教授

文化財石垣補修・補強技術協会が7月に設立され、発起人の一人である本学理工学部の橋本隆雄教授(写真)が会長に就任した。

本協会は、城壁および伝統的建造物群石垣の補修・補強対策工法を構築し、その技術を全国に普及させることを目的としており、会員として関連企業13社と本学を含む大学2校が参加する。

文化遺産である石垣の多くが地震や豪雨により、孕みなどの変状を生じ、崩壊する恐れがあるものの、土木・地盤工学分野の視点で十分な対策技術が確立されておらず、多くの地域での補強対策への要望に応えられていない現状がある。

歴史的な文化遺産を後世に受け継ぐためにも、本協会では、施工・模型実験や高度な解析を駆使し、極力現状維持したままで新たな工法を構築し、保存と伝承を目指す。

オンライン授業の実施と、大学教育の要諦　佐藤圭一学長が談話
対面授業再開へ自覚と見識を

オンライン授業の様子
(文学部・長谷川均教授)

まずはこのたびの九州を中心に全国各地で発生した豪雨災害で被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表します。

オンライン授業の選択

さて、新型コロナウイルス騒擾で迎えた令和2年度でしたが、本学は、春期授業をすべてオンライン(遠隔授業)で行うこととしました。当初、多くの学生諸君は自宅のWi-Fi環境や使用機材、そして未体験の授業形態への不安もあり困惑されたことと思います。

本学では、manaba(講義支援システム)を主軸として、収録可能なオンデマンド方式・リアルタイム方式のツールを選択すると共に、教育の質の確保を第一目的として、教職員の創意工夫により学部・研究科の各々の特性に合わせた取り組みを実施しました。今後も教員一人一人が授業内容を検証し丁寧な個別指導を心掛け、ICT(情報通信技術)時代に相応しい可能性や利便性、創造性を修得できるよう、実践を重ね教育効果を高めてまいります。

また、コロナ禍を機とする、より高度で多様なオンライン教育の進展を視野に、社会変化に対応すべく本学は、ウェブや電話を利用した学生相談やガイダンスの開講、図書館の利用など、新たな方法での修学支援を展開しています。加えて、経済的支援のための本学独自臨時奨学金制度などを通じて、本学での学びを継続できる手立ても講じています。

大学教育の要諦と対面授業の再開

とはいえ、オンラインには明らかな限界があります。皆さんは本来の大学生活を実感できないことに焦燥の思いを募らせていることでしょう。

「世の中に幾ばくかの良き価値を遺すことが、人としてのこの世に生を受けた意味である」とするならば、大学とは独善や独断を排し、真理追求の場であり、そのためには教員そして仲間たちとの語り合い、励まし合い、切磋琢磨することがとても大切です。目標を同じくする仲間たちとの喜怒哀楽を共有できるという大学本来の創造的空間が遮られている現状を早期に改めなければなりません。

そこで、本学では感染防止のための厳格なガイドラインを作成し、対面授業開始に向けて鋭意、準備を整えております。ただ、第2波への備え、命を守るためのソーシャル・ディスタンスの確保等により、通常とは異なった対応も施さなければなりません。そして何よりも、学生諸君の一人一人の自覚と見識に基づく責任ある行動なくして、キャンパスでの授業は実現できません。ご理解を賜りたく存じます。

閉散として静まり返ったキャンパスが、皆さんの歓喜と笑顔で再び活気横溢することを一日千秋の思いで待ち望んでおります。皆さんの〝夢・成就へ〟の願いを込めて!

受付をウェブ化

学生の総合相談窓口

本学は、学生からの面談申し込み受付をウェブ化した。面談内容は、学修、学生生活、人間関係、進路、退学・休学などを想定。学生が申し込んだ相談内容をもとに、希望する面談対応部署や配慮内容を加味したうえで面談対応者を決定する。面談方法は、状況に応じて対面、電話、ウェブ、メールなど。

コロナ禍以前には日常の中で行われてきた学生への声かけや相談が難しい状況下で、受付をウェブ化することにより、学生からの相談申込が行いやすい環境を作るのが狙い。

総合相談窓口として位置付けることで、どこに相談していいかわからず相談に至らなかった潜在的な学生ニーズの発掘にもつながることが期待される。

ウェブ化を機に、これまで各学部で行っていた面談記録の統一を図り、全学的に相談内容や対応方法の蓄積ができるようになる。蓄積された情報は、学生支援のための対応検討に役立てる。

※学生相談申込ウェブ受付フォーム →

大学の教室を利用した授業の様子

進学相談サイト開設

本年のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべて中止とした。

オープンキャンパスに替わって受験を検討する高校生への進学相談を受け付けるため、6月からウェブによる進学相談を開始。7月からは特設サイトを開設し、ウェブ相談の予約のほか、入学者選抜の概要説明動画やキャンパスツアー動画などを配信している。

「WEB進学相談」サイトはこちら →

入試改革元年
新たな入学者選抜の実施

本学は、令和2年度に実施する令和3年度入学者選抜から「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告(平成29年7月13日付文科高第355号高等局長通知)」に基づき、入試区分名称、入学者選抜実施日程、実施方法、大学入学共通テストの実施などの変更に伴う新たな入学者選抜を行う。

大学のアドミッション・ポリシーに適合しているかなど学力の3要素を多面的・総合的に評価することを加えた入学者選抜となる。

本年は、特に新型コロナウイルスの影響で、実施内容などの変更を余儀なくされる可能性もあるが、公平公正に努め、万全を期して実施する。

学内イベントを中止

本学は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、次のイベントを中止いたします。

■オープンキャンパス：本年の全日程を中止(8月29日、30日、9月26日、27日)

■父母懇談会：本年度中止

■学園祭：鶴川祭(町田キャンパス)、楓門祭(世田谷キャンパス)、多摩祭(多摩キャンパス)を中止

■ホームカミングデイ：中止

学園閉鎖のお知らせ

本学は法律に基づく省エネルギー対策の一環として次の期間中、学園を閉鎖します。この間に管理者・許可者以外は入構できません。

■世田谷・町田・多摩キャンパス：8月19日～23日

■中学・高校区域：8月11日～19日

災害による本学の支援措置について

このたびの九州を中心に全国各地で発生した豪雨災害で犠牲になられた方々へのご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまの安全と被災地の復興を心よりお祈りいたします。

在学生の皆さんへ

本学では被災世帯の在学生に対し、次のとおり経済的支援措置を講じます。

■学費の減免

内閣府の災害救助法適用地域世帯の学生に対し、被害状況に応じて授業料の半額を免除します。

【お問い合わせ】
学生・厚生課(全学部対象)
03(5451)8114

■日本学生支援機構奨学金の申請受付

給付奨学金の家計急変採用、貸与奨学金の緊急・応急採用等の申請手続きを受け付けます。

【お問い合わせ】
学生・厚生課奨学金窓口(全学部対象)
03(5451)8113

被災された受験生の方へ

令和3年度入学試験において、内閣府の災害救助法適用地域出身受験者を対象に入学検定料を全額免除します。該当者は事前にご連絡ください。

【お問い合わせ】
入試部：03(5451)3211

中高は通常授業を再開
万全の感染防止策

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、およそ2カ月にわたって休校が続いていた国士舘中学校・高等学校は、5月11日からオンラインツールを用いた授業を開始した。5月8日には授業開始に先立ちオンラインによるホームルームが行われ、画面上ながら久しぶりに顔を合わせた生徒らは同級生との対面に喜びの声を挙げた。

緊急事態宣言の解除を受け6月1日からは分散登校が開始され、この日開かれた全校集会では、新しい生活様式を遵守した学校生活における注意点が伝えられた。授業は大学の教室を活用するなど3密回避を徹底。部活動も時間・人数を制限し、徐々に再開された。

そして6月29日には、一斉授業を再開した。登校時のサーマルカメラなどによる検温や各教室へのサーキュレーター設置などの感染防止対策を施しつつ、都の感染状況に応じた柔軟な措置を講じ、生徒への感染防止に努めている。

国士舘大学新聞
題字は創立者 柴田德次郎筆
発行所
学校法人国士舘
〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
編集　広報課
☎ 03-5481-3115

国士舘大学

国士舘大学新聞はウェブサイトでもご覧になれます
www.kokushikan.ac.jp/information/public_relations/news_paper/
年4回・25日発行(1・4・7・10月)

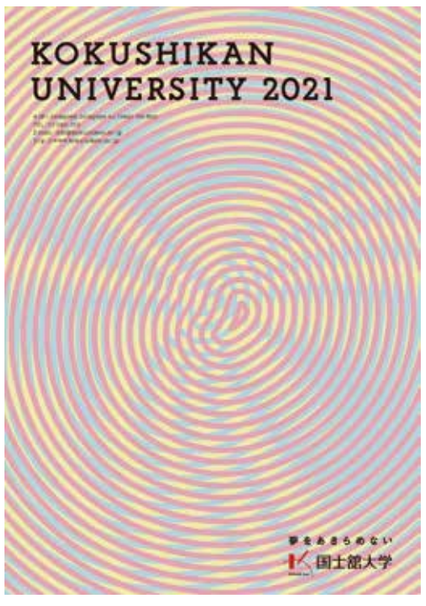
卒業生の皆様へ

いつも国士舘大学新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。
発送停止やご住所の変更は下記までご連絡くださいますようお願いします。

同窓会事務局
TEL：03-3413-7303
[平日 9:00～17:00]

今号の紙面

▼元教授6人に「名誉教授記」授与……【2面】
▼オンライン授業の質向上への取り組み……【4面】
▼理工学部・南教授が換気改善へ提案……【5面】
▼コロナ禍での本学アスリートそれぞれの思い……【6面】



▲大学案内2021を配布中です。

令和3年度(2021年度) 入学者選抜要項概要

※詳しくは、「令和3年度(2021年度)入学者選抜要項」で必ずご確認ください。

AO選抜Ⅰ期		推薦選抜(一般公募制)	
選抜日程・選抜内容について		選抜日程・選抜内容について	
インターネット出願期間	10月2日(金)～10月9日(金)	インターネット出願期間	11月2日(月)～11月9日(月)
実施学部	全学部	実施学部	政経学部、理工学部、法学部、文学部、21世紀アジア学部、経営学部
試験日	10月24日(土)	試験日	11月21日(土)
合格発表日	11月2日(月)	合格発表日	12月1日(火)
入学手続日	1次手続締切日：11月16日(月) 2次手続完了日：3月1日(月)　郵送消印有効	入学手続日	1次手続締切日：12月15日(火) 2次手続完了日：3月1日(月)　郵送消印有効
選抜内容	小論文(600字)　100点／60分 面接(政経学部・理工学部を除く学部)　100点 口頭試問(政経学部・理工学部のみ)　100点 書類審査(調査書、出願基準証明書、学修計画書)　100点	選抜内容	小論文(600字)　100点／60分 面接(理工学部を除く学部)　100点 口頭試問(理工学部のみ)　100点 書類審査(調査書、推薦書、学修計画書)　100点

※AO選抜Ⅱ・Ⅲ期の実施学部・選抜日程等は、本学のホームページもしくは「令和3年度(2021年度)入学者選抜要項」でご確認ください。

◆https://www.kokushikan.ac.jp